

令和3年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	05	01	02	154010	就労支援事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	06 雇用環境の充実	
	施策	01	職業人材の育成			
目的	雇用の安定のため、若年者や高齢者等の求職者支援を行う。					
対象	求職者、新規学卒者、概ね35歳未満の若者、高齢者、失業者、UIJターン者					
意図	就業できる					
事業概要	ジョブカフェはなまき運営 16,288千円 求職者に対するキャリアカウンセリング、セミナー、講習会等の実施 シルバー人材センター事業補助金 15,639千円 花巻市シルバー人材センター事業補助金 花巻雇用開発協会支援 697千円 花巻雇用開発協会負担金 既卒者等就業支援 2,800千円 UIJターン者就業奨励金、移住支援金、労働関係実態調査等 離職者等正規雇用促進奨励金（うち繰越明許費1,532千円）3,122千円 コロナ禍により雇用の場を失った市民の再就職支援として、正規雇用した市内事業者への奨励金の交付					
市民参加の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	ジョブカフェはなまき新規登録者数	人	計画	220.00	220.00	
			実績	217.00	216.00	
2	シルバー人材センター受託事業件数	件	計画	5,000.00	5,000.00	
			実績	6,308.00	6,061.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	ジョブカフェはなまき新規登録者数に対する就職率	%	目標	45.00	45.00	
			実績	53.40	49.20	
2	シルバー人材センター会員数	人	目標	700.00	700.00	
			実績	729.00	717.00	
3	UIJターン者就業奨励金又は移住支援金を活用して市内に就職したUIJターン者数	人	目標	14.00	14.00	
			実績	4.00	5.00	
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
ジョブカフェはなまきの新規登録者に対する就職率は、新型コロナウイルス感染拡大による施設の利用制限を受けたものの、オンラインによる相談業務に切り替えるなど適切な支援を行ったことから目標値を上回る結果となった。 シルバー人材センター会員数については、新規会員加入促進のための事業のPRやホームページによる情報発信を行ったことから目標値を上回る結果となった。 UIJターンの促進については、企業訪問等を通じて周知を図ったほか、花巻市移住支援金との重複受領可能となるよう要件の見直しを図った。本制度がUIJターン者や市内事業所に浸透してきているものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により採用を見送るなど雇用情勢に波及したことから、目標値に届くレベルにまで至っていない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	若年者のみならず、高齢者雇用も市が主体となって雇用拡大に取り組む必要がある。
	妥当である	
見直し余地がある		
妥当でない		
有効性	成果の向上余地	PR活動、就職に関する情報等の提供、新規の受託事業の掘り起こし、独自事業の展開を継続することで、雇用拡大につなげて成果の向上を図る。
	向上余地がある	
向上余地がない		
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の事業費で運営しており、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	求職者すべてにおいて利活用可能な事業であるため、適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	ジョブカフェはなまきによる求職者に対するセミナーや講習会の開催等の適切な支援を通じて、若年者の雇用機会の確保が図られた。また、地域社会の活性化に寄与している花巻市シルバー人材センターに対する支援によって、高齢者の就業機会の拡大が図られた。
	次年度に向けて	市内事業所の安定した雇用確保を図るために、機会をとらえて事業所及び移住希望者に対して情報提供を行いながら、UIJターン者の就業を奨励していく必要がある。また、雇用機会の確保のため、関係機関と連携した継続した就労支援が今後も必要である。

令和3年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	05	01	02	154020	技能人材育成事業費			
総合計画	分野	01	しごと	政策	06 雇用環境の充実			
	施策	01	職業人材の育成					
目的	酒造技術者の育成と技能者の養成のため、南部杜氏協会と花巻職業訓練協会の支援を行う。							
対象	南部杜氏協会の会員、技能職種の職業訓練を必要とする者							
意図	酒造技術が伝承され、技能職種人材の雇用促進が図られる							
事業概要	酒造技術者育成支援 670千円 南部杜氏協会が実施する杜氏講習会及び杜氏後継者育成事業に係る事業支援 南部杜氏協会支部支援 21千円 南部杜氏協会に対する事業補助 花巻職業訓練協会支援 2,154千円 花巻職業訓練協会が実施する技能職種人材の育成に係る事業支援 出稼ぎ就労者への支援 120千円 広報はなまきの送付ほか							
市民参加の有無	対象外							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標			単位	区分	R02	R03	R04	
1	酒造大学修了生			人	計画	30.00	30.00	
					実績	21.00	26.00	
2	長期訓練科目数			件	計画	4.00	4.00	
					実績	5.00	4.00	
3					計画			
					実績			
成果指標			単位	区分	R02	R03	R04	
1	花巻市内の杜氏資格選考試験合格者数			人	目標	1.00	1.00	
					実績	0.00	0.00	
2	長期訓練受講生			人	目標	20.00	20.00	
					実績	15.00	13.00	
3					目標			
					実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
酒造技術の育成、継承及び研鑽に係る酒造大学や夏季酒造講習会を継続して実施してきたが、杜氏資格選考試験受験者17名のうち、花巻市在住者はいなかった。 花巻高等職業訓練校に係る長期訓練受講生は、コロナ禍が継続しており、事業主が訓練生の派遣を見送るなどの影響が波及し、目標値に達しなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	伝統的に継承されてきた日本酒の醸造技術の確保と継承者育成のため、また、ものづくりの基礎となる重要な分野での職業訓練であることから、市の関与が必要である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	優れた南部杜氏の技術を継続的にPRし、後継者を発掘する。また、時代のニーズを注視し、職業科目を見直していくことで、訓練生の増加を見込める。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	技能職の確保・育成の観点から現行の補助金水準の維持が必要であり、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	補助金の他は、会員の会費、事業主負担金で運営されており、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	南部杜氏協会への事業補助金交付や育成事業に対する支援によって、南部杜氏の酒造技術の確保と後継者育成を図られた。また、花巻職業訓練協会に対する事業補助金交付や施設修繕に係る支援を通じ、職業能力開発の推進や地域産業を下支えする技能職種人材の育成が図られた。
	次年度に向けて	花巻市在住者で杜氏資格選考試験合格者を輩出するため、南部杜氏協会への支援を通じて酒造技術の育成、継承を図る。 花巻職業訓練協会に対する事業補助金交付や、令和4年3月の地震により破損した職業訓練校施設の修繕の早期対応を通じ、職業能力開発の推進や地域産業を下支えする技能職種人材の育成を図るほか、受講生増加のため市の広報やHP等で積極的な情報発信に努める。

令和3年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	05	01	02	154050	職業人材育成事業費			
総合計画	分野	01	しごと	政策	06 雇用環境の充実			
	施策	01	職業人材の育成					
目的	市内高校生、大学生等の地元企業への就業定着率の向上を図るため、関係機関等の連携体制を構築し、就業促進・定着促進事業を実施する。							
対象	求職者、新規学卒者、高齢者、失業者							
意図	就業できる							
事業概要	職業人材就業促進に向けた取組 1,268千円 高校生を対象とした事業所の紹介動画を作製し、市ホームページへ動画の掲載及び市内高校にて動画上映会を実施 専門学校生、大学生を対象とした新型コロナウイルス感染症による就職意識影響調査を実施 インターンシップ交通費、宿泊費を助成 70千円 市内企業へのインターンシップを独自に行う大学生等を対象に交通費、宿泊費を助成							
市民参加の有無								
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標			単位	区分	R02	R03	R04	
1	市内事業所説明会等の開催			回	計画	0.00	2.00	
					実績	2.00	1.00	
2	インターンシップ促進助成金を活用し学生が訪問した市内事業所数			事業所	計画	10.00	10.00	
					実績	3.00	4.00	
3					計画			
					実績			
成果指標			単位	区分	R02	R03	R04	
1	市内事業所説明会等参加者数			人	目標	250.00	250.00	
					実績	121.00	179.00	
2	インターンシップ促進助成金交付件数			件	目標	25.00	25.00	
					実績	8.00	4.00	
3					目標			
					実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
市内事業所説明会については感染防止策を講じたうえで市内高校2校による開催としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1校中止となったことが影響し、目標達成に至らなかったもの。また、昨年度より引き続き、コロナ禍であったことが大きく影響し、インターンシップが中止又は延期が相次いだ結果、交付件数が減少した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	関係機関との連携体制を構築し、就業率・定着率の早期向上を図るためには、市の積極的な関与が必要である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	事業所や学校には参加しやすい環境を整え、参加者を増やすことで成果が向上する。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の経費としている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内在住または市内事業所の就労者、市内事業所を希望する人、市内全事業所・高校・大学等を対象としていることから、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	コロナ禍における、学生に市内企業を知ってもらうための機会創出のため、紹介動画の作成および校内でのバーチャルインターンシップを実施し、就職に対する意識の向上を図った。また、大学生および短大生に対し就職意識調査を実施し、コロナ禍における学生のニーズを発掘。インターンシップ促進助成金については、新型コロナウイルス感染症の影響により交付件数は減少したものの、市内企業のコロナ禍におけるインターンシップへの考え方や実施方法について再認識することができた。
	次年度に向けて	学校および市内企業については、アフターコロナを見据えた動きが見られ、対面による事業実施を期待される声も聞こえてきている状況。バスツアー事業等（企業へ実際に訪問する形式）の再開も検討しながら、企業および学生が参加しやすい環境を整えたうえでの事業展開を目指す。

令和3年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	05	01	02	154120	失業者支援事業費		
総合計画	分野	01	しごと	政策	06 雇用環境の充実		
	施策	01	職業人材の育成				
目的	新型コロナウイルス感染症の影響により失業した方の生活を支援するため、見舞金を給付する。						
対象	新型コロナウイルス感染症の影響で事業主都合により失業した方						
意図	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業主都合により失業した方に対して見舞金を支給するもの。						
事業概要	失業者生活見舞金 7,900千円 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業主都合により失業した方に対して一律に10万円の見舞金を給付						
市民参加の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	R02	R03	R04
1				計画			
				実績			
2				計画			
				実績			
3				計画			
				実績			
成果指標			単位	区分	R02	R03	R04
1				目標			
				実績			
2				目標			
				実績			
3				目標			
				実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
<p>扶助費であることから、成果指標を設定しなかった。</p>		
目的妥当性	公共関与の妥当性	新型コロナウイルス感染症の影響により失業した方の、再就職までの生活を支援する必要がある。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	再就職までのつなぎの資金としていただくことで、心に余裕を持った就職活動が可能となる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の見舞金であり、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民のうち事業主都合で解雇または雇止めとなった方を対象としており、要件を満たす方であれば誰もが制度を活用することができるため、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	新型コロナウイルス感染症の影響により失業した方に対し見舞金を支給することで、再就職するまでの生活支援が図られた。
	次年度に向けて	新型コロナウイルス感染症の影響が継続するものと見込まれることから、雇用情勢等を見極めつつ、ハローワーク等の関係機関と連携し、本制度の周知に取り組む。